

## 〈〈 受験申込書等記入要領(大学推薦用) 〉〉

- ※欄は、記入しないでください。また、該当する項目は、○で囲んでください。
- 記入は、ペンかボールペン(黒又は青インク)を用い、楷書で記入してください。
- 「校種等・教科」欄は、「受験者カード記入例」の校種等・教科コード表を参照して、4桁の数字で記入してください。
- 「選考区分」欄の該当番号は、1つだけ○で囲んでください。
- 「校種等」欄は、該当する校種等の記号を1つだけ○で囲んでください。  
「教科」欄は、中学校及び高等学校の場合のみ記入してください。  
「科目」欄は、高等学校の地理歴史、理科及び工業の場合のみ記入してください。
- 「年齢」欄は、採用時(令和6(2024)年4月1日現在)の年齢を記入してください。
- 「最終学歴」欄は、卒業(修了)又は卒業(修了)見込みの短大・大学・大学院名と学部(研究科)・学科(専攻等)名を記入し、卒業(修了)又は卒業(修了)見込の別を○で囲んでください。
- 「受験する校種等・教科の免許状」欄は、受験する校種等・教科の免許状について先に取得したものの(取得予定のもの)の種類、教科及び取得(見込)年月を記入し、取得・見込の別を○で囲んでください。  
※ 「理科、英語に優れた力量をもつ小学校教員」区分については、小学校教諭免許状の取得状況及び、中学校又は高等学校教諭免許状(理科又は英語)の取得状況を記入してください。  
※ 「中学校・高等学校外国語(英語)教員」区分及び「中学校(美術・技術・家庭)教員」区分については、中学校教諭免許状外国語(英語)・美術・技術・家庭又は高等学校教諭免許状外国語(英語)取得状況を記入してください。  
※ 複数免許の取得が条件になっている教科(4月中旬発表の実施要項を参照のこと)については、もう一つの欄にも記入してください。

### 《「種類」欄の記入例》

平成元年4月1日以降に、新教育職員免許法により免許状を取得している人

(例) 小学校の2種免許状→小2種、中学校の1種免許状→中1種、高等学校の専修免許状→高専修

特別支援学校の1種免許状→特1種、特別支援学校の専修免許状→特専修

平成元年3月31日以前に、旧教育職員免許法により免許状を取得している人

(例) 小学校の1級普通免許状→小1普、中学校の2級普通免許状→中2普、高等学校の2級普通免許状→高2普

- 9 署名欄に自筆署名してください。自筆署名できない場合は、その理由、代筆者の氏名及び受験申込者との続柄を任意の様式に記入のうえ、押印し、受験申込書に添付してください。
- 10 特別選考(大学推薦)の第1次試験で不合格だった場合に、一般選考(障がい者区分で申し込んだ方は、障がいのある人を対象とした特別選考)での試験を受験することを「希望する」又は「希望しない」の別を○で囲んでください。
- 11 登録依頼等のための個人情報の提供について、「同意する」又は「同意しない」の別を○で囲んでください。
- 12 受験申込書の写真貼付欄に貼る写真は、申込み前3ヶ月以内に撮影した、縦4cm、横3cm、上半身、脱帽、正面向きのものを、裏面に氏名、校種等・教科を書いてから貼ってください。受験票への貼付用と第2次試験用に同一の写真がさらに3枚(計4枚)必要になります(各自保管)。
- 13 中学校(保健体育)、高等学校(保健体育)の受験者は、第2次試験の実技試験種目の選択がありますので、〈保健体育実技試験種目選択表〉の選択項目欄に合計4つ○をつけ、性別欄も記入してください。選択した種目は必ず控えておいてください(出願後の変更はできません)。
- 14 「受験者カード記入例」に従って、「受験者カード」の太線の枠内のみ鉛筆で楷書でていねいに記入してください。

- ◎ 申込記載事項が正しくないことが明らかになった場合は、合格を取り消すことがあります。
- ◎ 大学推薦受験者の大学院進学等による採用延期は認めておりません。
- ◎ 日本国籍を有しない人は、任用期限を付さない常勤講師としての採用となります。